

2022年12月 新型コロナウイルスに関する生活者調査

12月の「生活自由度」は62.1点と微減に転じる。 「不安」は和らぐも、「行動の抑制」はやや強まる

株式会社博報堂(本社-東京)のシンクタンク博報堂生活総合研究所は2022年12月、新型コロナウイルスが流行している昨今の生活者意識や行動について「新型コロナウイルスに関する生活者調査」を実施しました(調査期間は12月1~5日、対象は首都圏・名古屋圏・阪神圏の20~69歳の男女1,500名。調査概要は4ページ参照)。

【調査前の状況】国産初の新型コロナウイルス向け飲み薬の使用が承認されたとの報道(11月22日)があった一方、忘年会シーズンに向け、新型コロナウイルスと季節性インフルエンザの同時流行の懸念も政府から発表されました。感染者数は11月中も増加を続けています。11月8日には1週間平均で1日あたり全国で6万人台、東京都で同6千人台になっていましたが、調査直前の12月1日には全国で同11万人台に、東京都では同1万2千人台にまで増加しました。そのような中での調査です。

新型コロナウイルス影響下での「生活自由度」

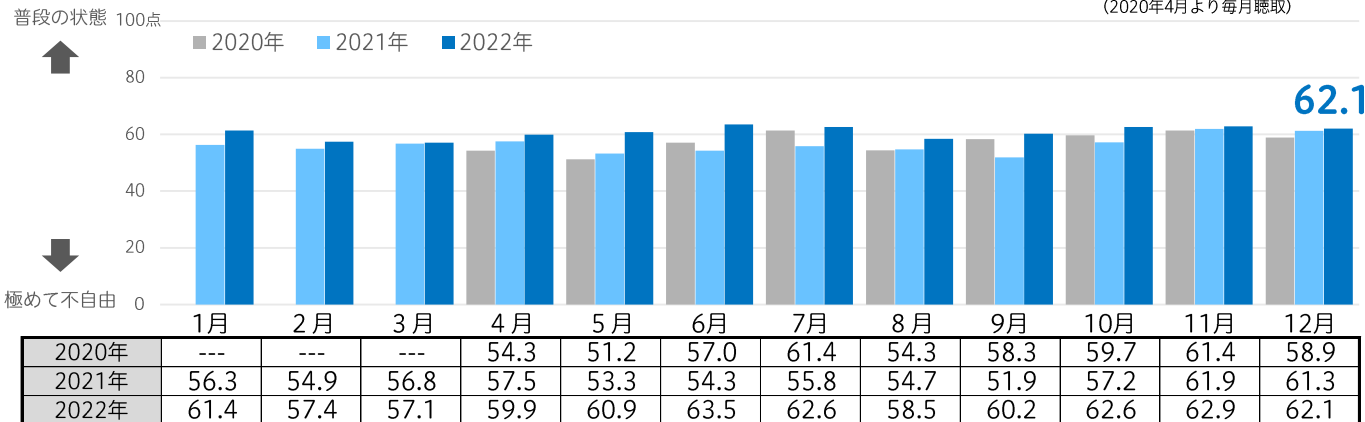
2022年12月は、62.1点

前月差
-0.8pt

前年同月差
+0.8pt

暮らしの自由度について感染拡大以前の普段の状態を100点とすると、現在は何点くらいかをきいたところ、2022年12月は62.1点となりました。今年の9月以後は増加を続けてきましたが、今月は一転、前月から0.8ptの微減となりました。なお前年同月との比較では0.8ptの微増となっています。

(2020年4月より毎月聴取)



※調査では小数第2位まで集計していますが、本稿は小数第1位まで(小数第2位を四捨五入)を表示しているため、点数差は見た目の数値と異なる場合があります。

新型コロナウイルス影響下での意識・行動

【不安度】は前月と比べて、「海外の情勢」(67.9%、4.5pt減)、「情報の不足や不確かさ」(57.7%、3.0pt減)、「行政の対応」(69.0%、2.7pt減)などが減少しています。【行動の抑制度】は前月から多くの項目で微増。「不要不急の外出」(54.3%、2.6pt増)、「外食」(49.7%、1.8pt増)、「体験型エンタメ」(50.9%、1.7pt増)など。【行動の実施度】では前月に比べて、「感染対策を徹底している店や施設の利用」(53.4%、4.8pt増)、「家の中でできる娯楽」(53.1%、4.2pt増)、「感染対策商品や日用品の備蓄」(62.3%、2.5pt増)などが増加しています。

	回答率 「あてはまる」「ややあてはまる」の計	前月差	前年同月差	
【不安度】 感じている不安	海外の情勢	67.9%	- 4.5pt	- 2.9pt
	情報の不足や不確かさ	57.7%	- 3.0pt	- 6.4pt
	行政の対応	69.0%	- 2.7pt	- 2.0pt
【行動の抑制度】 控えている行動	不要不急の外出	54.3%	+ 2.6pt	- 15.6pt
	外食	49.7%	+ 1.8pt	- 15.8pt
	体験型エンタメ(ライブ・観劇・映画鑑賞など)	50.9%	+ 1.7pt	- 16.7pt
【行動の実施度】 行っている行動	感染対策を徹底している店や施設の利用	53.4%	+ 4.8pt	- 3.5pt
	家の中でできる娯楽	53.1%	+ 4.2pt	- 11.0pt
	感染対策商品や日用品の備蓄	62.3%	+ 2.5pt	- 5.5pt

新型コロナウイルス影響下での「生活自由度」

12月の「生活自由度」は62.1点と微減に転じる

全国の新規感染者数は前月からの増加傾向が継続。11月上旬の1週間平均で1日6万人前後から、調査期間前の12月初旬には10万人超に増加。インフルエンザとの同時流行も懸念される中で、生活自由度はこれまでの増加基調から一転、前月から微減となりました。

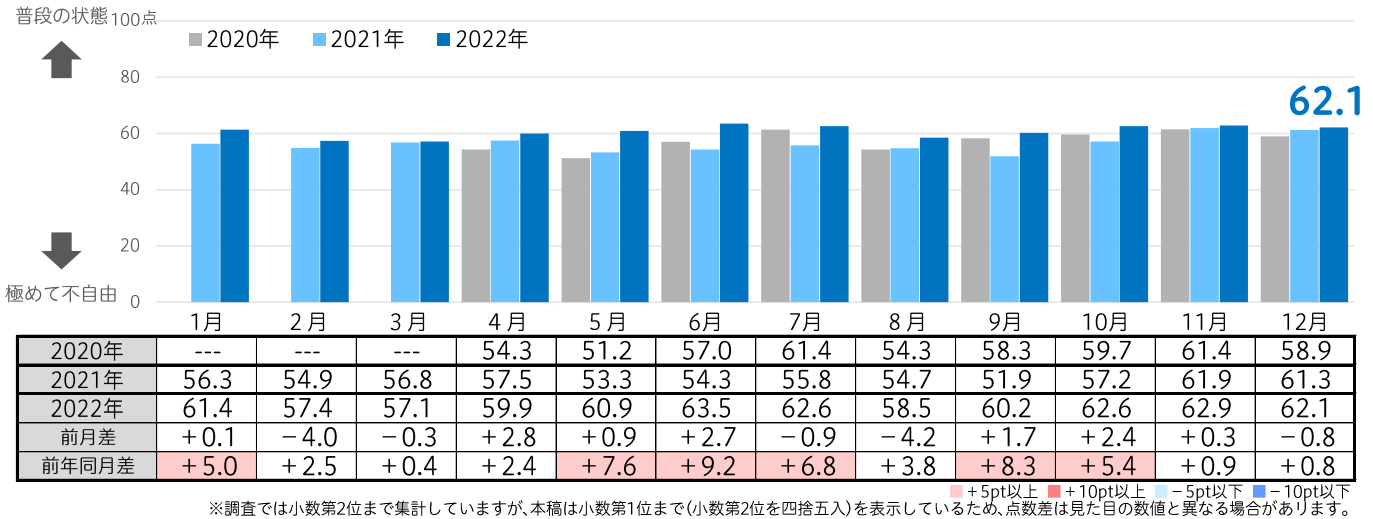
回答理由からは、慣れも含め行動は戻りつつあるが、不自由さやインフルとのW流行懸念、他人の行動への不安が漂う生活自由度「高」:「マスク以外は元の生活に戻った」との声があります。国内などある程度の旅行は可能になったことも大きいようです。「慣れもあり、不自由さを感じなくなった」一方、「感染前のノーマスクで人が密集する映像を見ると怖い」など、感覚の変化を感じる声もあります。

生活自由度「中」:「人が多い場所を敬遠する」、人に会いたいが相手が動かず「コミュニケーションが浅くなった」といった声があります。「インフルエンザの同時流行」を気にしつつ「慣れもある」との矛盾した意識があったり、「マスクやアクリル板」が象徴する不自由さを訴える声がみられます。

生活自由度「低」:「いつ感染してもおかしくない不安」に、インフルエンザの同時流行への「落ち着かなさ」が重なっています。「学業と余暇で行動ルールが違う」という学生の嘆き、社会活動が活発化する中での「他人の行動への不安」「医療現場の緊張とストレス」などの声も寄せられました。

生活自由度

(単位:点/差分:pt)



生活自由度の理由(一部抜粋)

高 (61点以上)	コロナ禍で、苦手な人や嫌いな人との縁が一気に切れ、新しい楽しみも見つかった。コロナ前よりかえて毎日が充実している。	100点	49歳女性・千葉県
	マスク着用や体温チェックを求められる以外は、旅行がほぼ自由化されるなどコロナ前に戻りつつあるから。	90点	36歳男性・愛知県
	マスクをしないといけないのが一番イヤだけど、マスクをして、旅行も買い物もジムも行っている!	80点	65歳女性・大阪府
	慣れたのかもかもしれませんが、あまり不自由に感じなくなった。一方、感染拡大前の映像(ノーマスク状態で密集していたりする映像)を見ると恐ろしく感じる。	80点	41歳男性・大阪府
	海外旅行やマスクなしの生活に戻ることはまだ難しいが、国内旅行や友達との食事は可能となり、不自由を感じることは減った。	70点	29歳女性・東京都
中 (41~60点)	施設に遊びに行った際、人が多いと諦めることがある。	60点	26歳男性・愛知県
	人に会いたくても相手が動かないことが多く、コミュニケーションが浅くなった。	60点	55歳男性・東京都
	まだまだ流行っているし、冬に向けてインフルエンザとのダブルでの感染も必ず流行すると思う。が、何となく慣れてしまっている自分もいるし、職場で感染者が出て、以前ほどには蔓延をしなくなったため。	50点	54歳女性・東京都
	感染拡大が起こった頃と比べると少しマシになってきたけど、旅行やライブに行くにも気がつかないながら行かないといけないし、周りの目も気になる。あと、少し熱が出ただけでコロナ扱いを受けるから、子どもたちも風邪をひくたびに、ビビりながらの生活をしないといけないところ。	50点	45歳女性・奈良県
低 (40点以下)	マスクやアクリル板のせいで声が聞こえないことが多いからです。	50点	31歳女性・大阪府
	コロナは収束せず、インフルエンザも流行する見込みで落ち着かない。	40点	39歳男性・大阪府
	なんとか生活はしているものの、やはりいつ感染してもおかしくないとの意識があるため、以前のようにマスクを外して自由に出出や旅行ができないことは寂しいです。基本的には外に出ていんなものを見たいし、学びたいし、感染を気にせず遊びたいです。マスク代もかかってしまいますし、マスクつけて外に出ても、マスクしていない人を見かけると不安になります。その分ネットでの買い物が増えたりしたのとはとてもありがたいです。自分の身を守るためには多少の不自由はしかたがないですね。	40点	33歳女性・東京都
	テストでは大学に行くことを強いられるが、学祭や友達との旅行や外食などの楽しい行事は制限されるため、とても不自由に感じる。	30点	22歳女性・兵庫県
	必要最小限の食材の買い物だけですが、どこへ行っても不安です。人の緊張感がなくなったのかと思う。ノーマスク、ノーマスクです。自分や家族が感染予防しても、他人様はお構いなしです。咳をしている人もいますし、学級閉鎖も多い。どこへも行きたくない。つまらない。3年も自粛生活が続くなんてストレスです。	30点	58歳女性・愛知県
医療現場にいるため、感染対策に常に高い緊張を強いられている。その一方、友人たちと会うことができなくなり、増大したストレスの解消手段が大幅に減り、非常に疲弊している。	2点	52歳男性・愛知県	

新型コロナウイルス影響下での意識・行動[実態]と収束後の行動[予想]

【不安度】は前月と比べて減少した項目が多い

前月比較では、「海外の情勢」(67.9%、4.5pt減)、「情報の不足や不確かさ」(57.7%、3.0pt減)、「行政の対応」(69.0%、2.7pt減)などが減少しています。前年同月比較でも、減少した項目が多く、「情報の不足や不確かさ」(57.7%、6.4pt減)、「自分や家族の健康」(60.9%、6.0pt減)などが目立ちます。

【行動の抑制度】は前月と比べて微増した項目が多い

前月比較では、「不要不急の外出」(54.3%、2.6pt増)、「外食」(49.7%、1.8pt増)、「体験型エンタメ」(50.9%、1.7pt増)などが微増しています。前年同月比較では、「旅行・レジャー」(55.6%、17.9pt減)、「体験型エンタメ」(50.9%、16.7pt減)をはじめ、全項目が10pt以上減少しています。

【行動の実施度】では、感染リスクを回避する行動が前月から増加

前月比較では、「感染対策を徹底している店や施設の利用」(53.4%、4.8pt増)、「家の中でできる娯楽」(53.1%、4.2pt増)などが増加しています。前年同月比較では、「家の中でできる娯楽」(53.1%、11.0pt減)、「混む時間を避けたり、来店頻度を減らした買い物」(49.9%、8.2pt減)などが減少。収束後に取り組みと思う行動[予想]…[実態]より[予想]が高いのは、「投資や資産運用」(+9.8pt)、「SNSの閲覧・投稿」(+8.1pt)などとなっています。

■ 生活意識・行動

【不安度】

	[実態] 感じている不安				
	22年10月	22年11月	22年12月	前月差	前年同月差
経済の停滞	75.5	77.3	74.9	-2.4	+0.4
行政の対応	69.8	71.7	69.0	-2.7	-2.0
海外の情勢	70.9	72.4	67.9	-4.5	-2.9
自分や家族の健康	62.7	61.7	60.9	-0.8	-6.0
自分や家族の仕事・収入	58.7	58.6	59.2	+0.6	+1.9
情報の不足や不確かさ	58.1	60.7	57.7	-3.0	-6.4
人づきあいの変化	38.1	37.9	39.3	+1.4	-3.8

(単位：% / 差分：pt)

【行動の抑制度】

	[実態] 控えている行動					[予想] 収束後に控えると思う行動					予想と実態の差 (最新月)
	22年10月	22年11月	22年12月	前月差	前年同月差	22年10月	22年11月	22年12月	前月差	前年同月差	
人とのボディタッチ (握手やハグなど)	66.1	62.7	60.9	-1.8	-13.8	58.3	57.1	54.5	-2.6	-11.8	-6.4
旅行・レジャー	58.5	55.5	55.6	+0.1	-17.9	44.2	42.3	42.6	+0.3	-9.3	-13.0
不要不急の外出	53.8	51.7	54.3	+2.6	-15.6	50.2	49.1	49.3	+0.2	-9.8	-5.0
交友・交際	55.5	53.3	54.3	+1.0	-16.2	46.0	45.7	44.9	-0.8	-8.0	-9.4
体験型エンタメ (ライブ・観劇・映画鑑賞など)	54.1	49.2	50.9	+1.7	-16.7	45.2	41.8	43.4	+1.6	-8.3	-7.5
外食	50.9	47.9	49.7	+1.8	-15.8	44.9	41.8	43.0	+1.2	-8.0	-6.7
不要不急の買い物	48.5	48.3	49.2	+0.9	-12.9	47.1	46.1	45.8	-0.3	-9.9	-3.4

【行動の実施度】

	[実態] 取り組んでいる行動					[予想] 収束後に取り組むと思う行動					予想と実態の差 (最新月)
	22年10月	22年11月	22年12月	前月差	前年同月差	22年10月	22年11月	22年12月	前月差	前年同月差	
感染対策の徹底 (マスク着用や手洗いなど)	86.3	86.1	85.1	-1.0	-6.1	76.7	77.3	76.8	-0.5	-8.1	-8.3
十分な運動・栄養・睡眠	75.2	73.6	73.1	-0.5	-2.6	79.7	78.1	78.3	+0.2	-3.7	+5.2
感染対策商品や日用品の備蓄	62.9	59.8	62.3	+2.5	-5.5	62.5	61.7	63.3	+1.6	-4.6	+1.0
キャッシュレスでの支払い	62.9	61.0	60.1	-0.9	-0.9	65.5	65.7	63.3	-2.4	-3.1	+3.2
感染対策を徹底している店や施設の利用	50.3	48.6	53.4	+4.8	-3.5	50.9	49.1	51.9	+2.8	-6.4	-1.5
家の中でできる娯楽	51.7	48.9	53.1	+4.2	-11.0	50.3	47.6	50.7	+3.1	-5.7	-2.4
自分で料理する	51.3	51.7	52.1	+0.4	-0.8	60.3	61.0	59.1	-1.9	-2.1	+7.0
混む時間を避けたり、来店頻度を減らした買い物	50.6	48.2	49.9	+1.7	-8.2	49.0	49.1	47.7	-1.4	-8.4	-2.2
ストリーミングサービスの利用 (動画や音楽など)	44.1	44.6	44.7	+0.1	-4.7	47.7	48.1	48.4	+0.3	-2.1	+3.7
スマホやパソコンなどでのゲーム	43.7	43.5	41.7	-1.8	-4.8	42.9	44.5	43.3	-1.2	-4.6	+1.6
自家用車での移動	42.9	42.2	41.2	-1.0	-5.9	45.0	43.3	41.5	-1.8	-6.0	+0.3
SNSの閲覧・投稿	39.4	39.4	40.0	+0.6	-1.3	46.7	48.1	48.1	±0.0	-0.8	+8.1
人が密集しない屋外でのレジャー	43.6	40.0	39.7	-0.3	-4.4	49.2	46.6	46.1	-0.5	-6.8	+6.4
家の中でできる運動	41.3	39.0	39.1	+0.1	-5.9	46.7	46.4	46.3	-0.1	-4.5	+7.2
人が密集しない屋外での運動	40.1	37.8	37.5	-0.3	-3.4	44.9	43.9	42.4	-1.5	-7.3	+4.9
インターネット通販や出前の利用	35.6	33.5	35.0	+1.5	-6.0	39.4	39.1	39.5	+0.4	-2.9	+4.5
家の環境充実 (通信環境整備や家電購入など)	29.6	30.1	30.1	±0.0	-3.6	36.0	35.3	36.2	+0.9	-5.1	+6.1
時差通勤・時差通学	32.5	29.4	28.8	-0.6	-6.9	37.7	35.5	34.0	-1.5	-4.8	+5.2
副業 (検討含む)	28.5	31.2	28.0	-3.2	-2.8	28.9	33.9	31.7	-2.2	±0.0	+3.7
テレワーク ※有職者ベース	26.4	27.9	25.2	-2.7	-5.4	29.6	30.9	28.4	-2.5	-2.7	+3.2
モノを手作りする (手芸、リフォーム、DIYなど)	25.8	25.1	24.9	-0.2	-1.0	31.5	32.7	31.3	-1.4	-1.6	+6.4
投資や資産運用	27.7	26.5	24.9	-1.6	-5.5	37.0	38.3	34.7	-3.6	-3.7	+9.8
就職・転職・起業 (検討含む)	23.2	24.3	23.9	-0.4	-1.8	26.7	26.9	24.3	-2.6	-3.6	+0.4
フリマアプリ・ネットオークションでの出品・販売	24.3	23.9	23.7	-0.2	-0.8	29.5	28.2	26.1	-2.1	-2.4	+2.4
普段より少し良いものを買う	25.7	24.5	23.2	-1.3	-5.4	30.1	29.7	28.8	-0.9	-4.9	+5.6
フリマアプリ・ネットオークションでの購入	24.8	23.7	22.7	-1.0	-2.4	28.8	29.7	29.0	-0.7	-0.9	+6.3
お店・団体の支援	18.5	16.6	17.7	+1.1	-2.8	20.4	19.9	19.9	±0.0	-2.6	+2.2
オンライン学習	18.9	19.5	17.1	-2.4	-2.3	24.2	23.9	22.1	-1.8	-1.6	+5.0
転居やリフォーム、複数拠点での生活 (検討含む)	17.0	16.3	16.5	+0.2	-1.9	20.5	21.0	19.5	-1.5	-3.1	+3.0
オンラインでの飲み会・食事会	17.1	16.1	15.1	-1.0	-4.2	17.2	18.3	16.7	-1.6	-3.3	+1.6

■ +5pt以上 ■ +10pt以上 ■ -5pt以下 ■ -10pt以下

新型コロナウイルスに関する生活者調査 調査概要

質問項目(質問文)

新型コロナウイルス影響下での「生活自由度」

新型コロナウイルス感染拡大以前の普段の状態を100点、
感染拡大により極めて不自由を強いられる状態を0点とすると、
あなたの現在の暮らしの自由度は何点くらいでしょうか。(0~100点の数値を回答)
また、あなたがその点数をつけた理由をお答えください。(自由回答)

新型コロナウイルス影響下での意識・行動[実態] ※一部、有職者ベースを含む

新型コロナウイルスの流行に関連して、次のような意見があります。
それぞれについて、あなた自身のお気持ちや行動にもっとも近いものをひとつずつお答えください。
(単一回答：あてはまる/ややあてはまる/あまりあてはまらない/あてはまらない)

【※有職者】
2022年12月 :1,050人
2022年11月 :1,095人
2022年10月 :1,077人

新型コロナウイルス収束後の行動[予想] ※一部、有職者ベースを含む

今後、新型コロナウイルス感染への懸念がなくなったとしても、あなたは次に挙げるような行動をしますと思いますか。
それぞれについて、あなたご自身の予想にもっとも近いものをひとつずつお答えください。
(単一回答：すると思う/時々すると思う/あまりしないと思う/しないと思う)

調査地域 ①首都40km圏(東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県)
②名古屋40km圏(愛知県・三重県・岐阜県)
③阪神30km圏(大阪府・京都府・兵庫県・奈良県)
調査対象者 20~69歳の男女
対象者割付 調査地域①~③各500人を各地域の人口構成比(性年代)に合わせ割付
調査人数 合計1,500人 (単位：人)

	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男性	131	143	180	172	127	753
女性	128	140	178	169	132	747
合計	259	283	358	341	259	1,500

調査方法 インターネット調査
調査時期 2022年12月1日(木)~5日(月)(2020年3月から調査開始/毎月月上旬に調査実施)
企画分析 博報堂生活総合研究所
実施集計 株式会社 H.M.マーケティングリサーチ

(参考)調査期間中の社会の主な動き ※感染者数の出典：関連ホームページ(厚生労働省、東京都とも12月15日時点)

<2020年>

4月 7都道府県で「緊急事態宣言」が発出(5/6まで)
緊急事態宣言を全国に拡大
5月 緊急事態宣言が解除(39県、後に大阪・兵庫・京都)
1都3県含む47都道府県すべてで解除
6月 東京で警戒情報「東京アラート」が発動
9月 東京でGoToトラベルの予約開始
10月 GoToイートの予約開始
11月 GoToトラベルの一時停止を首相表明
東京や大阪含む10都道府県でGoToイート中断
12月 GoToトラベルが一時中止(東京、後に全国)

<2021年>

8月 新規感染者が全国2万5千人超、東京で5千人超を記録
緊急事態宣言(19都道府県)、まん延防止等重点措置(8県)、9月末まで延長
9月 新規感染者の減少 月初の2万人台が中旬には6千人規模に、下旬には千人を下回る日も
重症者の減少 初旬2千人超で過去最多を更新後、減少を続け月末には千人を下回る
ワクチンの2回接種者が全人口の5割を超える
緊急事態宣言(19都道府県)、まん延防止等重点措置(8県)が全面解除(9/30)
10月 新規感染者数が100人以下、東京では一桁になるなど減少傾向が続く
11月 大規模イベントの上制限撤廃 1都3県と大阪で飲食店の自粛要請の緩和
12月 下旬まで感染者数は低位推移 下旬に大阪や東京でオミクロン株の市中感染

<2022年>

1月 1日9万人超など全国感染者数が急増 自宅療養者、救急搬送困難事例も大きく増加
「まん延防止等重点措置」の適用自治体は拡大を続け、月末には34都道府県に
2月 全国感染者数が1日10万人突破後、減少傾向に 北京冬季五輪・パラリンピック開幕
まん延防止等重点措置、5県では2/20をもって解除、18都道府県では3/21まで延長決定
3月 まん延防止等重点措置が18都道府県で解除(3/21)。全面解除は2か月半ぶり
4月 全国の新規感染者数、初旬に拡大傾向をみせるも、その後は減少傾向へ
5月 新規感染者は減少傾向 厚労省、マスク着用の考え方を発表(5/20)
6月 6/13の感染者数、東京都958人、全国6,005人 7/2には5日連続で全国2万人超
7月 新規感染者数が全国で初めて20万人超、東京都で4万人超 「第7波」が猛威
8月 全国新規感染者数は20万人超の日が下旬まで多く見られた後、下旬になり減少傾向へ
9月 全国新規感染者数の減少続く オミクロン株対応のワクチン接種開始
10月 水際対策の大幅緩和 全国新規感染者数が増加基調(1週間平均で上旬3万人→5万人/日)

[今回の調査時点までの詳細]

11月8日 全国新規感染者数は1週間平均で1日あたり6万人前後
11月22日 国産初の新型コロナウイルス飲み薬、厚生労働省の専門家会議が使用を承認
12月1日 全国新規感染者数、1週間平均で1日あたり11万人台へ増加

<備考>

- ・本調査は当面実施し、毎月第3~4週頃に発表予定です(今後の状況変化により、調査内容などを変更する可能性があります)。
- ・過去のニュースリリース(2020年4月発表開始)は、以下のURLからご覧いただけます。

<https://www.hakuhodo.co.jp/news/newsrelease/>

【本件に関するお問い合わせ】 株式会社博報堂 広報室 山田・玉 03-6441-6161 koho.mail@hakuhodo.co.jp